



単元のめあて 対応する辺や角に着目して拡大図や縮小図の性質を見付け、基本図形の拡大図や縮小図を作図できるようにする。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ① 大きさや形に着目して進んで図形を調べる活動を通して、拡大、縮小の意味を理解できるようにする。
- ② 形が同じ2つの図形の対応する辺の長さや角の大きさの関係を理解できるようにする。
- ③ 方眼を使って、図形の拡大図や縮小図をかくことができるようにする。
- ④ 辺の長さや角の大きさを使って三角形の拡大図や縮小図をかく方法を考え、説明できるようにする。
- ⑤ 三角形の拡大図や縮小図のかき方を基に、四角形のかき方を考え、説明できるようにする。
- ⑥ 1つの頂点を中心とした三角形の拡大図や縮小図のかき方を考え、説明できるようにする。
- ⑦ 1つの頂点を中心として拡大図や縮小図をかくことができるようにする。
- ⑧ 縮小図を利用して、直接測定できない2点間の距離を求めることができるようにする。
- ⑨ 拡大図や縮小図の意味や性質、作図の仕方を理解し、問題を解決することができるようにする。
- ⑩ 単元のまとめや「学びをいかそう」に取り組み、学習内容が定着しているかを確認められるようにする。

☆タブレット活用☆

- ・ロイロノートスクールを使い、班で協力して作図の手順を示すプレゼンを作る。
プレゼン内容：一手順ごとに写真を撮影し、コメントを入れる。
もしくは、作図の様子を解説動画にする。
- ・出来上がったプレゼンは教員へ提出し、全体解決で共有する。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・操作が簡単で、修正もすぐにできるので、短時間で作成することができる。
- ・全体解決の際に、黒板で大きなコンパスや定規を使って説明するよりも効率が良い。
- ・提出されたプレゼンを確認することで評価ができる。